

# 平成22年度 事業報告・決算等を承認

## 建設職能国保第52回臨時組合会

# 国保だより

建設職能会館内  
TEL 3260-6441  
FAX 3260-7534

### 単年度収支で3年ぶり赤字

### 財政状況はまだ好調

東京建設職能国保組合は7月22日午後2時から建設職能本部（新宿区市ヶ谷）で第52回臨時組合会を開き、平成22年度事業報告、収支決算、剰余金処分と報告事項を審議し承認された。繰越金を除いた単年度収支は後期高齢者制度が始まって以来2年間黒字続きだったが、平成22年度は一転5千万円の赤字となった。だが、年度外の要因である精算分等を除いて比較してみると、財政バランスは悪くないといえる。



組合会であいさつをする野口理事長

組合会は、組合員の代表者から選ばれた組合会議員18名と理事・監事の出席のもと市ヶ谷の建設職能会館で午後2時から開かれ、冒頭、先月百歳の現役で亡くなられた岡本副理事長の冥福を祈り出席者全

員で黙とうを捧げた。野口理事長の故岡本副理事長の功績を偲んだ挨拶のあと、小山孝司議長（東京瓦事業協同組合）により、「平成22年度事業報告」、「平成22年度歳入歳出決算」、「平成22年度決算

剰余金の処分」及び「報告事項」を審議し、いずれも原案通り可決承認された。被保険者数は昭和59年度の約3万人を頂点に、減少傾向が続き平成22年度は1万412人とな

り、平成22年度決算は前年度剰余金との単純比較で5千万円強の減少、すなわち単年度で赤字となるが、別の見方をすると、収入支出のなかには22年度以外の拠入金等の精算分及び返還となるものが確

実な補助金も含まれていて、これらを大きく差し引いて収支状況をみると、赤字額は僅かとなり、財政状況は決して悪くないことがわかる。しかし省内事業仕分けの結果、定率補助金はなんと確保される見通しなもの、普通調整補助金が今後は各組合ごとの平均課税標準額で算定されることになり、激変緩和措置が終

わり、5年後にはほぼゼロになるの見込まれることから、正念場といえる。設立の基本に立ち返り、法令順守支部講習会

### ◆被保険者数

組合員	4,235人
家族	5,760人
計	9,995人

(6月末現在)

### 1. 被保険者数(年間平均)

組合員4,414人 家族5,998人 合計10,412人。前年との比較では625人の減少。

### 2. 国民健康保険料

支部と組合員の皆様のご協力により本年度も100%の収納率となりました。

### 3. 保険給付の状況

収支に一番大きな影響を与える医療費は1人当たり年間費用額で昨年度より僅かに上がって22万9092円でした。

### 4. 補助金の状況

療養の給付、後期高齢者支援金などの補助対象事業費約23億4千万円に対し国庫・都補助金は、その約57%に当たる約13億3千万円を収入した。

### 5. 保健事業

- 特定健診受診者1,762人(受診率27%)
- 人間ドック受診者498人(うち組合員381人)
- 健康家庭表彰345世帯。うち3年間無受診の83世帯は2万円、1年間無受診世帯には1万円のギフト券を贈呈
- 出産した57人のお母さんに月刊誌「赤ちゃん和妈妈」を1年間贈呈。あと1年間季刊育児誌「1,2,3歳」を送ります。
- 常備薬を全世帯に、医療費のお知らせを該当世帯に送りました。

### 6. 決算残額の処分と積立金

決算剰余金4億8398万2838円は全額平成23年度の繰越金に。特別積立金4億7500万円(積立率211%)、給付費等支払準備金2億5500万円(同183%)は昨年と同額。退職積立金は昨年度の剰余金から1000万円積立て4700万円(同97%)。

## 事業報告等概要



基調講演をする清水コンプライアンス担当理事

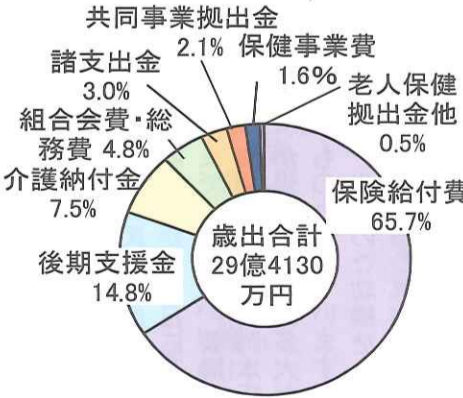
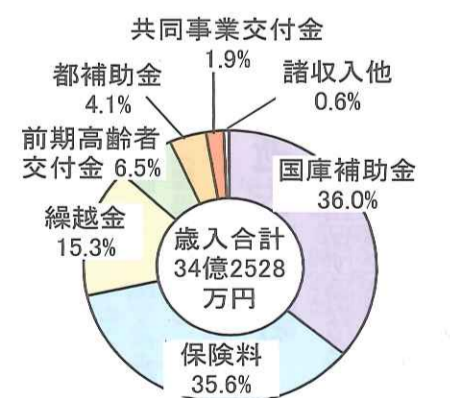
のいない人々を加えたり、健康保険の適用除外を受けずそのまま法人事業所を加入させていた問題などに対応するため、本年4月から法令順守(コンプライアンス)担当理事となつた清水一氏(東京建設職能組合)を中心に、各支部長及び支部の事務担当者50人余りを集めて法令順守講習会が開かれた。参加者は国保組合設立の経緯や法律関係、金銭取り扱ひの基本などを改めて確認しながら熱心に耳を傾けた。

組合員資格現況調査に当組合ではこの度、監督庁の指導により適用の適正化のため組合員資格の現況調査を行うこととなりました。組合員の皆様には何かと多忙のことと思いますが、ご多忙をご理解のうえ調査にご協力くださるようお願いいたします。調査票は所属支部を通じて8月中旬過ぎに送付いたしますので、建設業に従事していることが証明できる書類を添えて支部に提出してください。

### 平成22年度東京建設職能国民健康保険組合歳入歳出決算書 (単位:千円)

歳入			歳出		
国庫補助金	1,231,642	36.0%	保険給付費	1,933,255	65.7%
国民健康保険料	1,220,051	35.6%	後期支援金	436,386	14.8%
繰越金	525,422	15.3%	介護納付金	220,496	7.5%
前期高齢者交付金	221,680	6.5%	組合会費・総務費	141,235	4.8%
都補助金	139,593	4.1%	諸支出金(還付金)	86,724	3.0%
高額共同事業交付金	65,999	1.9%	高額共同事業拠出金	61,730	2.1%
諸収入他	20,899	0.6%	保健事業費	47,550	1.6%
			老人保健拠出金	13,152	0.5%
			前期高齢者納付金	775	0.0%
<b>歳入合計</b>	<b>3,425,286</b>	<b>100.0%</b>	<b>歳出合計</b>	<b>2,941,303</b>	<b>100.0%</b>

歳入歳出差引残高 483,983千円



- |          |           |           |           |           |           |           |          |           |           |           |           |           |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| <br>黒川 修 | <br>安東 久子 | <br>柳田 孝光 | <br>石井庄四郎 | <br>黒田 國男 | <br>植島 清春 | <br>谷田川良一 | <br>下田 均 | <br>南波 行雄 | <br>植松 勝己 | <br>川上 廣男 | <br>渡辺 真史 | <br>吉田 昭二 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|